

# 令和6年度 ときわ会 活動の重点と重点達成の方策

ときわ会  
本旨

1. われらは人格の形成者としての社会的責任と自覚を堅持して進む者のつどいである。
2. われらはつねに厳しくみずから鍛え、相互に錬磨しあう者のつどいである。
3. われらは不朽の理想実現のために結集し、生生発展する者のつどいである。

優れた教師の条件（中教審 義務教育特別部会）  
教職に対する強い情熱  
教育の専門家としての確かな力量  
総合的な人間力



【基本方針】 人材を活かし、主体的に学び合い鍛え合う研修、人と人をつなぐ組織運営

活動の  
重点

主体的に学び続ける会員一人一人の資質・能力を高めるため、ときわ会の多様な人材を活用し、ニーズに応じた魅力ある研修を推進する。

ときわ会の多様な人材をつなぎ、会員一人一人の人間力を向上させるため、各種会合の内容と方法を工夫し、組織の活性化を図る。

ときわ会の趣旨や活動の理解、社会への認知を図るため、研修や活動の情報公開と発信を進め、会員内外のネットワークを強固にする。

重点  
達成の  
方策

- (1)社会で求められる力を育成する授業力を高める研修
- (2)学校が直面している課題を解決するための研修
- (3)GIGAスクール構想の先を見据えた、新しい時代の教育に対応した研修
- (4)一人一人に応じた合理的配慮を一層提供できる特別支援教育に関する研修
- (5)専門性を高めるためのときわSTによる研修やサークル研修

- (1)各種会合の目的に応じた内容や形式、時間帯等の工夫
- (2)支部長及び校園長会員による会員一人一人への丁寧な支援と活躍できる場の整備
- (3)各地域や分野の中核となる人材の計画的な育成
- (4)若手会員や少数の職種・校種の会員、自立会員等への支援の充実
- (5)会員がより主体的に活動に参加するための諸活動の工夫

- (1)ときわ会HPや「エデュコにいがた」、SNS等による情報発信
- (2)会員以外の講師招聘や研修会への参加呼び掛け等を通じた、外部との積極的な交流
- (3)行政機関、県内外の諸大学、教育関係諸機関、公益財団法人新潟教育会等の団体との緊密な連携